

## サラサヤンマ

*Sarasaeschna pryeri*

兵庫県：B

環境省：－

### 種の概要

腹長41～47mm、後翅長36～41mm程度。体色は黒色で腹部には黄色または黄緑色の斑紋を有する。丘陵地から低山地のハンノキの生育した湿地や休耕田などに生息する。成虫は4月～7月に見られる。



写真提供：青木典司

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州、

### 県内分布記録

神戸市、姫路市、西宮市、芦屋市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、上郡町、佐用町、香美町

### 選定理由

| 人為性   |        | 特殊生息環境 | 学術性   |       |    |
|-------|--------|--------|-------|-------|----|
| 個体数激減 | 生息環境激変 |        | 分布が極限 | 分布の限界 | 希少 |
|       |        | ○      | ○     |       | ○  |

### 特記事項

新しく発見される場所は若干増えているが、湿地が陸地化していく湿性遷移末期の特殊な環境に生息するため、乾燥化が進むと個体数が減少する。湧水のある湿地では継続的に生息するが、天水の湿地の場合は、近年の気温上昇によって湿地の乾燥化が加速される恐れが高く、絶滅の危機は増大している。

### 保護上の留意点

遷移が進んで草原化しないような湿地管理を行う。